

令和4年度 学校法人福山大学事業計画

令和3年12月16日

I. 事業活動の重点

学校法人福山大学は、近時少子化に伴う18歳人口の減少、大学全入時代の到来等、社会情勢の変化に伴い、法人活動を営むにあたって相当厳しい状況を迎えているといっても過言ではない。

福山大学及び福山平成大学では、これまで学科改組・名称変更、成績優秀者に対する授業料の減免措置、建物等修学環境の整備、国外協定校からの留学生の確保及び入学定員の適正化等の施策を講じるなど対処してきたが、依然として受験者数及び定員の充足率において不本意であり、令和4年度も受験者及び入学者を確保することについて喫緊の重要課題として引き続き取り組む必要がある。

このため、受験者及び入学者確保並びに卒業生の就職先の確保及び高水準の就職率維持のための方策、教育システム並びにICTによる修学環境の充実・推進、高大連携の強化、施設・設備の充実等を含め、高校生等に魅力ある大学として様々な課題に対し、主体的かつ機動的に対処する。

また、新型コロナウイルス感染症対策として、引き続き教育・研究環境確保のため、状況の変化に素早く対応した感染防止・予防対策を実施する。

II. 事業計画の主要項目

1. 令和4年度学校法人福山大学諸行事の実施
2. 受験者、入学者の確保施策の推進
3. 広報活動の強化
4. 大学教育改革等の推進
5. 学生のICTによる修学環境の充実
6. グローバル化の推進
7. 施設・設備の整備、充実
8. 新型コロナウイルス感染症対策の充実
9. 地域社会との連携推進
10. 教育・研究支援のための寄付金募集活動の推進
11. 長期ビジョン委員会による将来構想の策定
12. 法人運営の充実

III. 事業計画の内容

1. 令和4年度学校法人福山大学諸行事の実施
別紙「令和4年度学校法人福山大学諸行事の日程」のとおり
2. 受験者、入学者の確保施策の推進
 - (1) 入試戦略委員会による入学者増のための施策の策定
 - (2) 特色ある学部、学科づくりのための教育システムの推進

- (3) 学生のキャンパスアメニティの整備及び学内諸施設の改修
- (4) 総合型選抜(一般)、大学入学共通テストの継続実施
- (5) マスコミ及び学校法人福山大学社会連携推進センターを活用した積極的な広報活動の推進
- (6) ホームページ及び広報誌等による学内情報のより一層の発信
- (7) 高大連携協定書締結高校との連携の充実
- (8) 福山大学・福山平成大学入試担当者と高等学校(備後圏域)との合同研修会の実施
- (9) 高校訪問活動のより一層の充実及び高校毎の大学訪問の積極的受け入れ
- (10) オープンキャンパス、出前授業等の充実や公開授業の全学的推進
- (11) 海外の大学との交流協定書に基づく留学生の受け入れ及び新規開拓
- (12) 同窓会(卒業生による業界説明会)及び後援会による就職支援対策の強化

3. 広報活動の強化

ホームページ、大学要覧、高大連携広報誌「さん・サンメルマガ」、テレビCM、駅ホーム、空港デッキへの広報などの質的、量的充実を積極的に図るとともに、学部による特色をアピールした高校向けパンフレットの作成、保証人への学報の配送、学長短信、学長室ブログ、学校法人福山大学社会連携推進センターを利用した入試情報の発信・進学相談、松永商店街への幟設置の継続など、より一層の広報活動を展開する。

また、シンボルマーク及びイメージキャラクターをより活用し、広く学内外にアピールするとともに大学のブランドイメージの高揚に努める。

4. 大学教育改革等の推進

全学共通教育と専門教育、キャリア教育、資格取得教育など、教育の各側面に係る実践の質的向上を一層図り、必要な修学環境の整備に努める。授業評価アンケートや卒業生アンケートの結果を授業改善に活かすとともに、学修成果の可視化をより進展させる。担任教員は個々の学生の可視化された学修成果をきめ細かい学生指導に役立て、大学および各学部はPDCAサイクルを意識して、学科並びに大学全体としての教育目標達成度の判定に基づき、必要な改善を行う。

さらに、福山大学ではブランディング推進のための研究プロジェクトへの学生の積極的参加を促し、全学部を挙げて「地域にとって頼りがいのある地域の知の拠点」となることを目指し、地域の未来を創る「未来創造人」として学生を育てることに全力を傾注する。

5. 学生のICTによる修学環境の充実

福山大学並びに福山平成大学においては、DX(Digital Transformation)に資するため、地元データセンターの活用によるファイヤーウォール等インターネット関連機器の集約化を行うとともに福山大学内海生物資源研究所のインターネット回線を100Mbpsから1Gbpsに拡充を図る。また、福山大学並びに福山平成大学のBYOD(Bring Your Own Device/パソコン必携化)を推進するため、学内無線アクセスポイント及びスイッチングハブの更新を行うなど、修学環境の更なる充実を図る。

6. グローバル化の推進

福山大学では、大学間及び学部間等の学術教育交流協定書に基づく海外の協定大学（アメリカ・中国・ブルガリア・ベトナム・インドネシア・メキシコ・ポーランド・台湾・韓国・ラオスの32大学）との交流の更なる発展・深化に努めるとともに、必要に応じて新規協定の締結を目指し、優良留学生の確保と本学学生の海外体験の拡大を図る。なお、国内外における新型コロナウイルス感染症の状況に細心の注意を払いながら、適宜ICTを活用した国際交流の機会を最大限設けるなどの取り組みを通じ、グローバル化の推進を図る。

7. 施設・設備の整備、充実

福山大学並びに福山平成大学では、CO2削減に資するため、照明器具のLED化の促進等、諸施設の整備、充実に努める。

福山大学では、海洋生物科学科の収容定員増に伴う内海生物資源研究所実験棟の増築・改修工事並びに研究所排水の水質確認用の高性能な窒素・リン測定装置の導入、経年劣化に伴うサッカー場人工芝貼替、1号館講義室カーペットタイル貼替、30号館屋上防水改修工事、クロッシングガーデン非常放送設備の設置を行い、福山平成大学では、3・7号館屋上防水補修工事を行うなど、両大学の学内諸施設のより一層の整備、充実に努める。

また、令和5年度に教員宿舎からセミナー室・合宿所に改修を予定している福山平成大学爽風会館の改修計画を立案するとともに、令和6年度に新築を予定している福山平成大学14号館（学生ホール・アクティブラーニング棟）の基本設計を行う。

主要設備としては、福山大学では、多元素を一斉・迅速に分析するマルチタイプICP発光分光分析装置の導入、学内無線アクセスポイント、34号館3階マルチメディア情報室CBT用パソコン、1号館BYOD対応ICT学修室管理用サーバー、34号館2階講義室プロジェクタの更新など、福山平成大学では、最新鋭のフリーウェイトトレーニング機器の導入、スイッチングハブ、講義室用プロジェクタ及びマイク設備、看護実習用機器の更新を行うなど両大学における学生の学修環境の整備・充実に努める。

8. 新型コロナウイルス感染症対策の充実

新型コロナウイルス感染拡大防止のための文部科学省の「学校の新しい生活様式」に対応した設備等（高速自動検温システム、消毒剤、マスク等）の整備・充実に努めるとともに、学校法人福山大学社会連携推進センターを会場として令和3年度に2回実施した3大学（福山市立大学、福山大学、福山平成大学）連携新型コロナウイルスワクチン大学拠点接種について、必要に応じて3回目を実施する。

9. 地域社会との連携推進

松永駅前活性化プロジェクト（通称プロジェクトM）を主体とする”学生の街、松永”の取り組みの更なる充実に努める。

学校法人福山大学社会連携推進センター、福山大学社会連携センター及び共同利用センター、福山平成大学びんご経営リサーチセンター及び地域交流センターをそれぞれ社会連携の拠点として、地域社会への貢献を果たすため、学校、病院、地元企業及び自治

体等と連携して組織的、総合的な取り組みをより一層推進する。

びんご圏域における地方公共団体、大学及び企業等が連携して国際ビジネスで活躍できる人材の育成に努める。

また、学校法人福山大学社会連携推進センターにおける福山大学孔子学院は、受講者数の減少傾向にあるため受講者の確保に努めるとともに、協定校である対外経済貿易大学及び上海師範大学と地域社会向けに中国文化、中国語等の普及を図る。

10. 教育・研究支援のための寄付金募集活動の推進

福山大学並びに福山平成大学の学術研究や教育等の充実・発展のために、福山大学では、研究ブランディング事業など25件の研究・教育支援基金、福山平成大学では、3件の研究・教育・地域交流支援基金を設置し、両大学のホームページの他、福山大学卒業生並びに地元企業等にも募集を呼びかけ、寄付金募集活動について、より一層の推進を図る。

11. 長期ビジョン委員会による将来構想の策定

福山大学並びに福山平成大学の将来構想について、長期ビジョン委員会による報告を受け、その実現に向けて検討を行う。

12. 法人運営の充実

- (1) 学校法人福山大学の中期計画の推進
- (2) 定員未充足学部・学科の入学者確保のための募集活動のより一層の支援
- (3) 監事による監査及びその支援体制の充実
- (4) 福山大学並びに福山平成大学に係る教育・研究の拡充支援
- (5) 教職員の評価システムの充実

(参考) 過去3年間の入試実績

(福山大学)

年 度	入学定員	出願者数	合格者数	入学者数	充 足 率
平成31年度	970人	2,763人	1,616人	914人	94.2%
令和2年度	970人	2,700人	1,658人	922人	95.1%
令和3年度	970人	2,784人	1,675人	806人	83.1%

(福山平成大学)

年 度	入学定員	出願者数	合格者数	入学者数	充 足 率
平成31年度	340人	725人	494人	305人	89.7%
令和2年度	340人	743人	500人	300人	88.2%
令和3年度	340人	692人	473人	293人	86.2%

(別紙)

令和4年度 学校法人福山大学諸行事の日程

月	法人	福山大学	福山平成大学
4	理事懇談会(上旬)	入学式(3日) 学生リエンテーション・健康診断(4日～8日) 前期授業開始(11日)	入学式(4日) 学生リエンテーション・健康診断(5日～8日) 前期授業開始(11日)
5	理事会・評議員会(下旬)	開学記念日(15日) 学長杯争奪競技大会	開学記念日(15日) 学長杯争奪競技大会
6		入試説明会(上旬) 進路別セミナー(上旬) 見学会(下旬)	入試説明会(上旬) 進路別セミナー(上旬) 見学会(下旬)
7	理事会(中旬)	体験入学会(中旬) 前期授業終了(29日)	体験入学会(中旬) 前期授業終了(27日) 前期定期試験(28日～8月5日)
8		前期定期試験(1日～8日) 夏季休業開始(9日) 体験入学会(下旬) 教育懇談会(下旬～9月上旬)	夏季休業開始(6日) 体験入学会(下旬) 保証人懇談会(下旬～9月上旬)
9		見学会(中旬) 夏季休業終了(20日) 後期授業開始(21日) 公開講座(中旬～10月下旬)	見学会(中旬) 夏季休業終了(15日) 後期授業開始(16日) 公開講座(中旬～10月下旬)
10	理事会(下旬)	大学祭(三蔵祭)(21日～24日) 総合型選抜(一般)Ⅰ期(下旬) 総合型選抜(スポーツA)Ⅰ期(下旬)	大学祭(御幸祭)(28日～31日) 総合型選抜(一般)Ⅰ期(下旬) 総合型選抜(スポーツ)Ⅰ期(下旬)
11		指定校推薦型選抜(中旬) 指定校(グローバル・会計経営・芸術メディア)推薦型選抜第1回(中旬) 総合型選抜(スポーツA)Ⅱ期(中旬) 公募推薦型選抜A(中旬) 総合型選抜(一般)Ⅱ期(下旬) 学生健康診断 卒業生による業界説明会	指定校推薦型選抜(中旬) 指定校(資格推薦方式)推薦型選抜第1回(中旬) 総合型選抜(スポーツ)Ⅱ期(中旬) 公募推薦型選抜A(中旬) 総合型選抜(一般)Ⅱ期(下旬)
12	理事会・評議員会(中旬)	公募推薦型選抜B(中旬) 総合型選抜(スポーツB)Ⅰ期(中旬) 指定校(グローバル・会計経営・芸術メディア)推薦型選抜第2回(中旬) 授業終了(21日) 冬季休業開始(22日)	公募推薦型選抜B(中旬) 総合型選抜(スポーツ)Ⅲ期(中旬) 指定校(資格推薦方式)推薦型選抜第2回(中旬) 授業終了(20日) 冬季休業開始(21日)
1		冬季休業終了(4日) 授業開始(5日) 大学入学共通テスト(14日～15日) 後期授業終了(30日) 一般選抜前期A日程(下旬～2月上旬)	冬季休業終了(7日) 授業開始(10日) 大学入学共通テスト(14日～15日) 後期授業終了(30日) 一般選抜前期A日程(下旬～2月上旬)
2		大学入学共通テスト利用選抜(前期)(上旬) 後期定期試験(6日～15日) 企業懇談会 総合型選抜(スポーツB)Ⅱ期(中旬) 一般選抜前期B日程(下旬) 合同企業説明会	大学入学共通テスト利用選抜(前期)(上旬) 後期定期試験(4日～14日) 企業懇談会 総合型選抜(スポーツ)Ⅳ期(中旬) 一般選抜前期B日程(下旬) 合同企業説明会
3	理事会(中旬)	春季休業開始(1日) 一般選抜後期(上旬) 大学入学共通テスト利用選抜(後期)(上旬) 見学会(中旬) 学位記授与式(卒業式)(20日)	春季休業開始(1日) 一般選抜後期(上旬) 大学入学共通テスト利用選抜(後期)(上旬) 見学会(中旬) 学位記授与式(卒業式)(21日)